

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月20日

計画の名称	京都市における少子・高齢社会に対応した公園再整備												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	京都市												
計画の目標	既存公園の機能再編等を目的とした再整備により、少子・高齢社会に対応したまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,446	A	1,421	B	0	C	25	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.72	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	少子・高齢社会に対応した公園数の増加 健康遊具を有する公園の割合の増加	7%	7%	7%
2	京都市竹林公園における定期的なプレイパークの開催による利用者数の増加 京都市洛西竹林公園子どもの広場の利用者数(プレイパークの実施等)	0人	0人	5000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	<input type="radio"/>	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供
京都市水共生プランに基づき実施される要素事業(3-A-1) 番号1 3-A-1 目標値:当初現況値6.7%,中間目標値6.8%,最終目標値7.0% 番号2 3-A-2 事業完了はR2年度の予定であり,最終目標値はR3年度の実績で評価する。															

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
成果目標に関連する基幹事業担当課において評価の実施をする。	成果目標 1 に関連する令和3年度末時点の最終実績値確定の後に公表。
	公表の方法
	HPにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>成果目標 1 : 当初予定以上に健康遊具の設置が出来ており、少子・高齢社会に対応した公園数を増加できている。 定量的指標「健康遊具を有する公園の割合の増加」について 7% (目標値) 14% (実績値) となった。</p> <p>成果目標 2 : 当該公園の利用者数は、事業実施前と比較して顕著に増加しており、事業の効果が着実に発現している。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
特記事項 (今後の方針等)	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	7%
	最終実績値	14%
2	最終目標値	5000人
	最終実績値	5300人